



No.45

# げんきカエル



## こども病院ニュースレター

### ブラックジャックセミナーを開催しました。

小児外科部長 横井 暁子

平成 25 年 10 月 5 日、兵庫県立こども病院とジョンソン&ジョンソン株式会社との共催でブラックジャックセミナーを開催しました。



当院の社会貢献事業として、文部科学省から Super science high school に指定された兵庫県下の 9 校の高校生を対象に、外科系医師による講義と実際の手術器具に触れるハンズオンセミナーを行いました。当日は総勢 56 人の高校生が参加されました。脳外科、心臓外科、整形外科、形成外科、眼科、泌尿器科、外科が、それぞれ実際の手術ビデオや医療器具を呈示し、臨場感あふれる講義となりました。またハンズオンセミナーでは、生徒さんたちに手術時に使用する清潔ガウンと手袋をつけてもらって、縫合糸を結ぶ練習や、腹腔鏡手術のための医師の練習用器材や電気メスや超音波凝固装置といった実際に手術に使用している器材に触れてみるといった体験をしていただきました。

講義では生々しい手術ビデオに気分が悪くなってしまった女子高生もいましたが、概ね興味深く聞いてもらえ、素朴な質問も飛びだしました。ハンズオンセミナーではモニターを見ながらの腹腔鏡手術練習の上達スピードが速く、ゲーム世代の強みを発揮する生徒が多くみられました。セミナー後に行ったアンケート調査では、興味深かった、今後の進路選択の上で非常に役に立った、という感想が多数を占め、来年も同じような企画があれば是非参加させたいという先生からの要望もあり、盛況のうちに終わることができました。





## インターンシップ

看護師長補佐 井口 秀子  
森田 昌子  
伊達 直美

平成25年8月より当院に就職を考えている看護学生を対象に、「インターンシッププログラム」を行っています。実際の仕事や病院の雰囲気を経験することで、自分がこの病院や仕事に向いているか、こども病院に就職してやっていけるかなどを確認する事ができます。

平成25年8月と平成26年2月のインターンシッププログラムに合計12名の看護学生の参加者があり、全員が病院や看護のイメージが出来たと言われ、当院で働きたいと強く思ったなどの意見が聞かれました。

また同時にミニレクチャー&病院見学会を開催し、小児看護に興味を持った方を対象に小児看護の

魅力やこどもの頑張る力を引き出す関わりとしてのプレパレーションの実際、先輩看護師が伝える小児看護の楽しさを、病院見学会では実際に入院しているこども達の様子やこども目線の施設など、小児専門病院ならではの看護を体感して頂いています。

これらの経験をもとに学生として就職という一生の課題をしっかりと考え、今後の進路を選択される際の一助となればと考えます。そして翌年の春にはスタッフとなり当院で再会できる事を楽しみにこども達と共に待っています。





# 今春から心臓センターがオープンします。

患者さまをトータルで支える医療の提供～チーム医療の推進～

心臓外科部長 大嶋 義博

平成26年4月から、循環器内科・外科の枠を越えて、患者さんを中心とした診療体制を強化していきます。診療レベルをさらに向上させ、一貫性のある治療を行っていくため、心臓センターが開設されます（但し、新しい建物ができるわけではありません）。胎児から新生児までの周産期、乳児、幼児、学童期、さらに成人期まで、幅広い患者層に対応するため、産科、新生児科との緊密

な連携はもとより、成人施設の循環器科、心臓外科との連携も行っていきます。また、カテーテル治療や手術には、麻酔科、放射線技師、臨床工学技士、看護師など、専門知識を持った、多くのスタッフの協力が必要です。チーム医療を中心として、次の4つの大きな柱をモットーに、センター運営が行われていきます。

- 1. 周産期医療** 胎児診断や母体搬送など、産科や新生児科との連携を強化します。
- 2. 救急医療** 何時、いかなる患者さんも受け入れる、“決して断らない”をモットーに！24時間体制にて、ドクターカーによる患者搬送、NICU、ICUへの円滑な患者受け入れ、緊急カテーテル、緊急手術を行っていきます。
- 3. 成育医療** 成人先天性心疾患の外来、診療（カテーテル診断・治療、手術）の中心的な役割を担い、成人施設での先天性心疾患外来との連携を強化します。
- 4. 最新医療** カテーテル治療とハイブリッド治療  
動脈管や心房中隔欠損の閉鎖、バルーンによる血管や弁の拡大、ステント、コイル塞栓など、従来の方法に加えて、手術とカテーテル治療のコラボレーションも行っています。また、将来はカテーテルによる肺動脈弁移殖や胎児カテーテル治療の臨床応用も目指しています。



写真) 循環器内科と外科が共同で、カテーテル治療を行っています (ハイブリッド治療)



## 病院の建替整備

総務部次長(新病院担当) 宮崎 伸一

新病院の建築工事が始まりました。  
 当院の建替整備に関しては、平成24年度から基本設計・実施設計を進め、昨年11月28日にポートアイランド(第2期)の整備地において、起工式を行いました。現在は、建物を支える杭を打つ工事を進めています。

「県立こども病院建替整備基本計画」に基づき、より質の高い医療を提供できる安全で安心な病院として生まれ変わる姿をイメージしながら、今後とも多くの関係者と一体となって、建築工事を進めていきたいと思います。

現場事務所では、平成27年度の竣工に向け安全かつ円滑に工事が進むよう、設計、建築、設備及び県の担当者による会議を毎週開催し、細部にわたる意見交換や調整を行っています。これまでは図面上での検討が中心でしたが、実際に工事が始まることでますます実感が高まってきました。



### Concept

コンセプト

#### 基本理念

周産期・小児医療の総合施設として、母とこどもの高度専門医療を通じて、親と地域社会と一体になってこどもたちの健やかな成長を目指します。



#### 基本方針

1. 患者の権利を尊重した医療の実践
2. 安全・安心と信頼の医療の遂行
3. 高度に専門化されたチーム医療の推進
4. 地域の医療・保健・福祉・教育機関との連携
5. 親とこどもが一体となった治療の推進
6. こどもへの愛とまことに満ちた医療人の育成
7. 医療ボランティアとの協調による患者サービスの向上
8. 継続的な高度専門医療提供のための経営の効率化

## 編集後記

記録的な暴雪を記録した地域もあった寒い冬が去り、駅から歩いて登ってくると喜喜鳥の声も聞こえるようになりました。新病院の建設もスタートし、このような季節の声が聞けなくなるのかなと思うと少し残念な気分にもなる今日この頃です。

げんきカエルに、取り上げてほしい話題等がありましたら編集委員まで、お声がけ下さい。

編集委員長：橋本ひとみ  
 編集委員：田中亮二郎 中村淑子 内海祐子  
               井手敦子 藤部真吾 赤松規子  
               山根龍也 北川加奈美

本誌に関するご感想・ご希望・ご質問はこちらまで



兵庫県立こども病院

周産期医療センター 小児救急医療センター

〒654-0081 神戸市須磨区高倉台1丁目1-1  
 TEL 078-732-6961  
 FAX 078-735-0910(総務課)  
 FAX 078-732-6980(予約センター)  
 URL: <http://www.hyogo-kodomo-hosp.com/>  
 E-MAIL: [info\\_kch@hp.pref.hyogo.jp](mailto:info_kch@hp.pref.hyogo.jp)